

| | | |
|-----------|--|--------------------------|
| 新規 | 住宅施策推進業務 〔予算額 9,344 千円〕 | 建築部住宅課 総務企画係(23-6880) |
| 財源内訳 | 一般財源 9,344 千円 | |
| 支出内訳 | 8款8項1目 住宅総務費／委員報酬 224千円、費用弁償 19千円、特別旅費 20千円、食糧費 7千円、住宅施策推進委託料 9,041千円、職員研修負担金 33千円 | |

住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律が平成 29 年 10 月に改正され、新たな住宅セーフティネット制度が創設されました。低額所得者、高齢者、子育て世帯、障がい者、外国人その他の事情などから住宅に困窮されているかたへの支援に向けて、住宅確保要配慮者の入居を拒まない民間賃貸住宅の登録、住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅供給促進計画の策定、居住支援協議会の設置、住宅・福祉関係者や様々な地域主体との連携による支援を通じて、家族・地域が支えあう、豊かな住まいづくりを目指します。



住宅・建築物耐震化事業費補助業務〔予算額 130,118千円〕

建築部住宅課
耐震促進係(23-6709)

財源内訳 国庫支出金 65,059千円、県支出金 31,304千円、一般財源 33,755千円

支出内訳 8款8項1目 住宅総務費／木造住宅耐震診断委託料 12,964千円、住宅・建築物耐震化事業費補助金 117,154千円

●事業概要：昭和56年5月以前に着工した旧耐震基準の住宅・建築物の耐震化を支援します。

【木造住宅耐震改修費補助】

制度変更

補助金の額・・・上限100万円

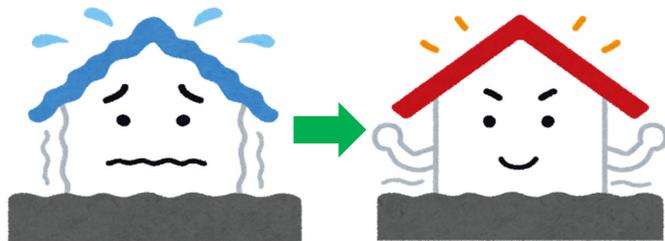
(耐震改修工事費の80%以内)

受領委任の制度の開始

耐震改修工事を実施した業者が、申請者の委任を受け補助金の受領を代理で行うことができる制度です。

申請者の当初の費用負担が軽減されます。

新たな取組



【その他の補助】

- ・木造住宅無料耐震診断
- ・非木造住宅耐震診断費補助
- ・建築物耐震診断費補助
- ・木造住宅段階的改修費補助
- ・耐震診断義務化建築物改修費補助
- ・耐震シェルター整備費補助

など



| | | |
|-----------|-------------------------------------|--------------------------|
| 拡充 | 旧耐震住宅除却事業費補助業務 〔予算額 9,000千円〕 | 建築部住宅課 耐震促進係(23-6709) |
| 財源内訳 | 国庫支出金 4,500千円、一般財源 4,500千円 | |
| 支出内訳 | 8款8項1目 住宅総務費／住宅除却費補助金 9,000千円 | |

大規模地震により倒壊の危険性がある旧耐震基準の住宅やブロック塀は、被災時に生命の危険を及ぼすだけでなく道路閉塞により避難や救助活動の妨げになる可能性もあるため、除却費用等を補助して災害に強く安全な街づくりを推進します。

住宅除却費補助

昭和56年5月以前に建てられた耐震基準に満たない住宅の除却費用の補助

補助金の額

除却費用の2/3

上限20万円まで補助



新規 ブロック塀等撤去費補助

道路に面した一定の高さ以上のブロック塀等を撤去する費用の補助

補助金の額

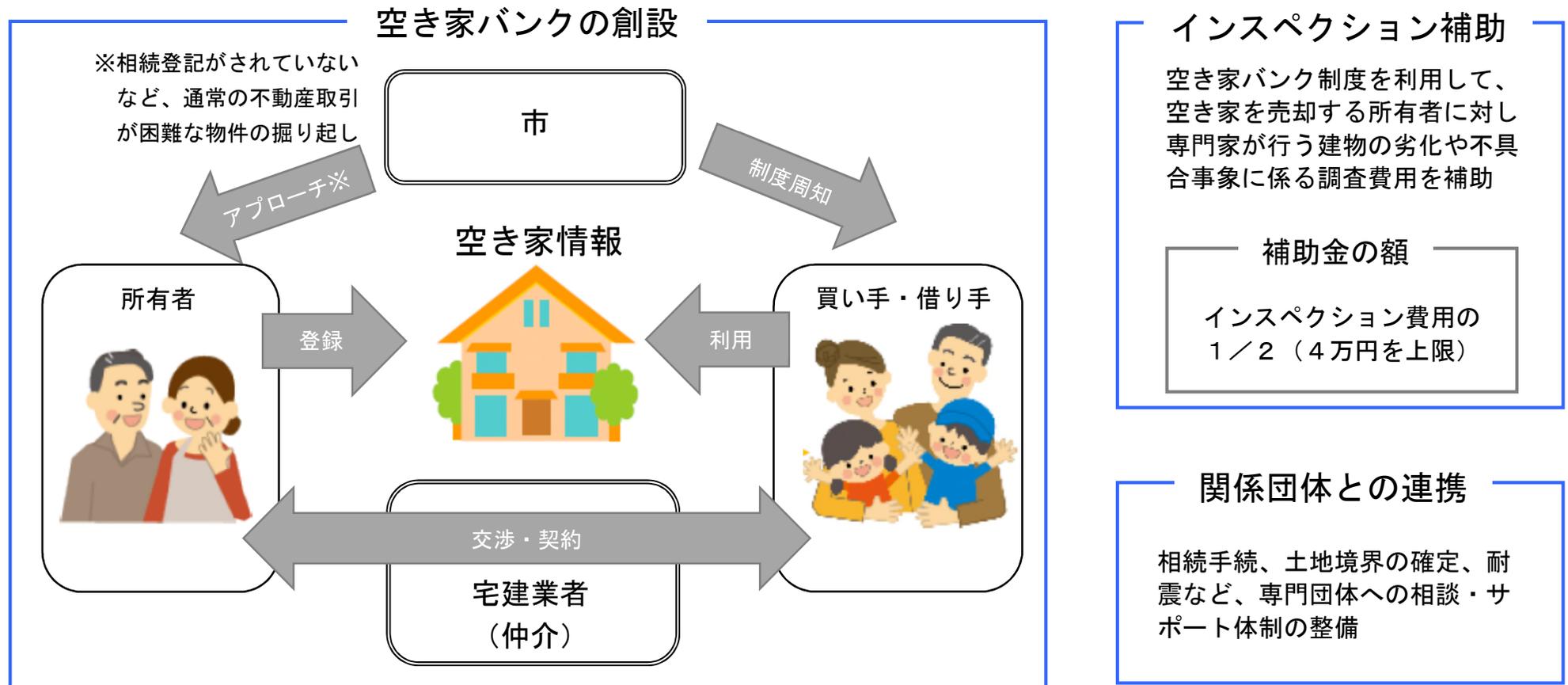
撤去費用
撤去する塀の長さ×1万円 } 低い方の額の1/2

上限10万円まで補助



| | | |
|-----------|---|---------------------------|
| 新規 | 空き家流通活用促進業務 〔予算額 1,616千円〕 | 建築部住宅課 空き家対策係(23-6629) |
| 財源内訳 | 一般財源 1,616千円 | |
| 支出内訳 | 8款8項1目 住宅総務費／印刷製本費 60千円、土地家屋所有者調査委託料 756千円、空き家状況調査補助金 800千円 | |

使用されない空き家の流通・活用を促進するため、関係団体との協働により空き家バンクを設置し、空き家情報を集約・発信します。また安心して中古住宅の売買が行えるよう、専門家が行う建物の劣化や不具合事象を調査（インスペクション）する費用の一部補助を行います。



| | | |
|--------------------------|---|---|
| 市営住宅用途廃止業務〔予算額 61,949千円〕 | | 建築部住宅課 総務企画係(23-6880) 市営住宅係(23-6322) |
| 財源内訳 | 使用料及び手数料 61,949千円 | |
| 支出内訳 | 8款8項2目 住宅管理費／食糧費 13千円、建物修繕料 292千円、植栽管理委託料 508千円、残存物処分委託料 1,836千円、市営住宅改修設計委託料 4,231千円、市営住宅改修工事請負費 47,042千円、用途廃止協力補助金 105千円、用途廃止移転補償金 7,922千円 | |

市営住宅中之郷荘の入居者が減少してきたことにより、コミュニティ形成の問題や団地内清掃、共益費など入居者の負担が増加しており、また空き家の維持管理を行っていく必要があることから、団地の一部に入居者が集まる「団地内集約」を実施していきます。

また、市営住宅桑谷荘の耐震性に問題がある2階建住宅について、安全な住宅への移転のための団地内平屋建てあるいは団地外への早期移転を促進し、居住の安定を図っていきます。

- ・中之郷荘

| | | |
|------|-----------|-----------------------|
| 建設年度 | 昭和42～44年度 | (築後49年以上) |
| 住宅構造 | 簡易耐火構造 | 平屋建 184戸 2階建 35戸 |
| 入居状況 | 管理戸数 219戸 | 入居世帯数 56世帯 (H30.1末現在) |

- ・桑谷荘

| | | |
|------|------------|------------------------|
| 建設年度 | 昭和 44～45年度 | (築後 48年以上) |
| 住宅構造 | 簡易耐火構造 | 平屋建 126戸 2階建 53戸 |
| 入居状況 | 管理戸数 179戸 | 入居世帯数 123世帯 (H30.1末現在) |

| | | |
|--------------------------------|---|------------------------|
| 平地荘整備業務 〔予算額 280,962千円〕 | | 建築部住宅課 技術係(23-6879) |
| 財源内訳 | 国庫支出金 131,248千円、市債 115,000千円、一般財源 34,714千円 | |
| 支出内訳 | 8款8項3目 住宅建設費／食糧費 53千円、住宅性能評価手数料 1,122千円、構造計算適合判定手数料 511千円、施工監理委託料 2,238千円、家屋調査委託料 7,576千円、市営住宅新築工事請負費 231,000千円、市営住宅解体工事請負費 30,221千円、建物等移転補償金 5,865千円、電柱移設補償金 2,376千円 | |

【事業概要】 平地荘（昭和 46～47 年建設）は、老朽化しているため建替えを行い、住宅に困窮する低額所得者へ低廉な家賃で良好な居住環境の提供を行います。

【整備スケジュール】

- 平成 28 年度 基本設計業務
- 平成 29 年度 実施設計業務①
- 平成 30～31 年度
第 1 期建設工事
- 平成 31 年度 実施設計業務②
- 平成 32 年度～33 年度
第 2 期建設工事
- 平成 34 年度 第 3 期建設工事

平成35年3月完成予定

平地荘完成予想図（イメージ）



*実施設計①：住棟 2 棟設計 実施設計②：住棟 3 棟・集会所・放課後児童クラブ設計
第 1 期建設：住棟 2 棟建設 第 2 期建設：住棟 3 棟建設 第 3 期建設：集会所・放課後児童クラブ建設

| | | |
|---|--|---------------------------|
| 【水道事業】原水及び浄水施設整備事業〔予算額 164,456 千円〕 | | 上下水道局総務課 財務1係(23-6353) |
| 財源内訳 | 自己財源 164,456 千円 | |
| 支出内訳 | 水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 原水及び浄水施設費／委託料 41,993千円、 施設工事費 102,861千円、 その他 19,602千円 | |

老朽化した施設及び設備を更新します。

◆主な事業内容

【設 計】

- (1) 仁木浄水場電気設備更新実施設計業務 (10,163 千円)
- (2) 仁木浄水場汚泥池更新実施設計業務 (31,830 千円)

【工 事】

- (1) 額田南部浄水場中央監視装置更新工事 (40,392 千円)
- (2) 本宿配水場インバータ取替工事 (22,680 千円)



【水道事業】配水・給水施設整備事業〔予算額 2,757,040千円〕

上下水道局総務課
財務1係(23-6353)

財源内訳 企業債 584,000千円、他会計出資金 314,644千円、工事負担金 401,960千円、他会計負担金 22,550千円、県補助金 18,000千円、自己財源 1,415,886千円

支出内訳 水道事業会計(資本的支出) 1款1項2目 配水施設費/委託料 188,600千円、施設工事費 2,308,800千円、その他 120,867千円
1款1項3目 給水施設費/施設工事費 97,800千円、その他 40,973千円

老朽化した水道管の更新及び重要給水施設への耐震化を行います。

◆基本方針

- ・配水管布設・布設替、塩化ビニル管・ダクタイトル鑄鉄管布設替
- ・重要給水施設への水道管路及び導・送水管の耐震化

◆主な事業内容

- (1) 管路耐震化事業：第1期事業（688,700千円）
 - ・愛知県西三河総合庁舎始め6箇所の重要給水施設への水道管の耐震化
 - ・ $\phi 50 \sim \phi 800$ 、 $L = \text{約 } 2,600\text{m}$
- (2) 管路耐震化事業(導・送水管)：第2期事業（30,000千円）
 - ・導・送水管の耐震化
 - ・基本設計業務 $L = \text{約 } 20\text{km}$
- (3) 塩化ビニル管布設替事業（338,000千円）
 - ・老朽化した塩化ビニル管のダクタイトル鑄鉄管への更新
 - ・ $\phi 75 \sim \phi 150$ 、 $L = \text{約 } 4,300\text{m}$
- (4) ダクタイトル鑄鉄管布設替事業（512,600千円）
 - ・老朽化したダクタイトル鑄鉄管の更新
 - ・ $\phi 100 \sim \phi 200$ 、 $L = \text{約 } 3,500\text{m}$

耐震管性能イメージ



管路耐震化工事状況



| | | |
|-------------------------------------|--|---------------------------|
| 【水道事業】水道拡張事業 〔予算額 511,466千円〕 | | 上下水道局総務課 財務1係(23-6353) |
| 財源内訳 | 工事負担金 9,018千円、自己財源 502,448千円 | |
| 支出内訳 | 水道事業会計(資本的支出) 1款1項4目 水道拡張費/委託料 91,036千円、施設工事費 365,000千円、その他 55,430千円 | |

○配水区の再編による施設の統廃合及び送水ルートの特線化(2条化)を行います。

○簡易水道事業の公営企業会計への移行及び水道事業との事業統合を行います。

◆主な事業内容

- (1) 東部配水区再編整備事業 (171,000千円)
 目的：東部配水区の再編により、配区内の施設統廃合等を行う。
 ・東部配水区再編整備事業施設工事
 (配水管布設工事：上衣文町ほか、φ400、L=約900m)
- (2) 本宿送水管2条化整備事業 (256,500千円)
 目的：本宿配水場への送水ルートを複数確保することで安定供給を図る。
 ・本宿送水管2条化整備事業施設工事(上地配水場⇒本宿配水場)
 (送水管布設工事：竜泉寺町ほか、φ100~φ500、L=約1,200m)
- (3) 簡易水道事業統合事業 (18,036千円)
 目的：簡易水道事業の公営企業会計化により、水道事業との事業統合を行う。
 ・簡易水道事業の公営企業会計移行
 (平成32年度予算・決算～)
 ・水道事業変更認可申請書作成業務
 (事業期間：平成30~31年度、総事業費：36,072千円)



※ 事業数：1 上水道事業、6 簡易水道事業



H31年度末(H32.3月)
公営企業会計化

事業統合(経営統合+施設統廃合)
 ※ 事業数：1 上水道事業

【下水道事業】汚水整備事業〔予算額 932,400千円〕

上下水道局総務課
財務2係(23-6858)

財源内訳 企業債 549,100千円、受益者負担金 78,357千円、国庫補助金 291,000千円、自己財源 13,943千円

支出内訳 下水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 管渠施設費/委託料 162,100千円、手数料 300千円、補償金 50,100千円、施設工事費 719,900千円

下水道(汚水)の整備を進めます。(整備面積 約 27 ha)

◆汚水整備 (932,400 千円)

- ・整備予定延長 L≒ 6,800m
- ・整備予定管渠 φ150 mm~200 mm
- ・事業予定地域 岡町、定国町、中村町、筒針町、島坂町、檜山町ほか

◎岡崎市汚水適正処理構想に基づき、平成 28 年度に下水道事業計画を変更しました。今後も引き続き、汚水処理施設整備の早期概成を目指します。

【汚水処理施設整備の基本方針】

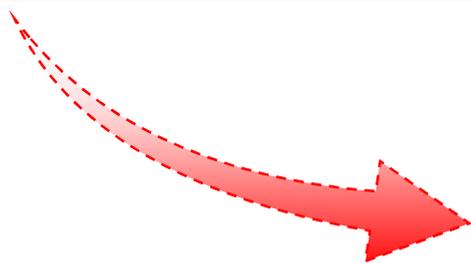
- ・少子高齢化による人口減
- ・事業の採算性
- ・時間軸 (10 年間)



より一層の効率化を図りながら、下水道整備を進めていきます。



汚水管の施工状況



健全な水循環に寄与



水環境の復元

【下水道事業】雨水整備事業〔予算額 1,162,000千円〕

上下水道局総務課
財務2係(23-6858)

〔平成29年度3月補正に前倒した予算額 1,400,000千円〕(合計予算額 2,562,000千円)

財源内訳 企業債 591,700千円、他会計出資金 44,500千円、国庫補助金 525,800千円

支出内訳 下水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 管渠施設費/委託料 14,600千円、手数料 200千円、賃借料 2,900千円、補償金 6,900千円、
土地購入費 14,200千円、施設工事費 861,200千円
1款1項2目 ポンプ場施設費/委託料 250,300千円、補償金 2,700千円、施設工事費 9,000千円

浸水被害の軽減を図ります。

◆雨水管渠整備 (900,000千円)

【工事】

- (1) 六名雨水ポンプ場放流渠築造工事 (450,400千円) 【29~33年度】
 - ・ $\phi 2,600$ mm、L \approx 600m
- (2) 若松南幹線築造工事 (98,800千円)
 - ・ $\square 1,800$ mm \times 1,800 mm、L \approx 105m
- (3) 柱町幹線関連工事 (94,000千円)
 - ・ $\square 2,200$ mm \times 2,200 mm、L \approx 50m

H29 補正予算対応

- ・ 六名雨水ポンプ場放流渠築造工事
- ・ 六名雨水ポンプ場流入渠築造工事
- ・ 中町幹線築造工事

◆雨水ポンプ場整備 (262,000千円)

【工事】

- (1) 六名雨水ポンプ場築造工事 (250,300千円) 【29~34年度】
 - ・ 排水能力 $Q=8.0$ m³/s

H29 補正予算対応

- ・ 六名雨水ポンプ場築造工事



| | | |
|--|--|---------------------------|
| 【下水道事業】下水道施設地震対策整備事業〔予算額 281,400千円〕 | | 上下水道局総務課 財務2係(23-6858) |
| 財源内訳 | 企業債 110,700千円、他会計出資金 10,200千円、国庫補助金 138,200千円、自己財源 22,300千円 | |
| 支出内訳 | 下水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 管渠施設費/委託料 40,000千円、補償金 46,000千円、施設工事費 86,000千円 1款1項2目 ポンプ場施設費/委託料 109,400千円 | |

耐震性能が低い下水道管渠及びポンプ施設の耐震化を図ります。

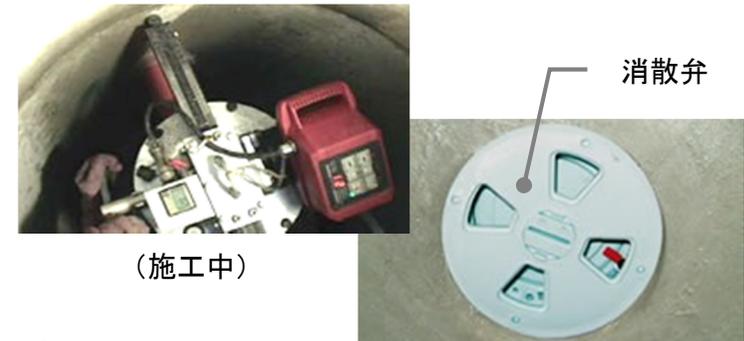
◆管 渠 (172,000 千円)

【調査・設計等】

- (1) 次期下水道総合地震対策計画策定支援業務 (10,000 千円)
- (2) マンホールの浮上対策に関する耐震診断業務 (6,000 千円)
- (3) 重要な幹線等における管渠の点検調査業務 (24,000 千円)
・L≒ 4,000m

【工 事】

- (1) 地盤液状化が想定される箇所のマンホール浮上防止工事 (15,000 千円)
・N=24 基



(施工中)

マンホール浮上防止工事の状況

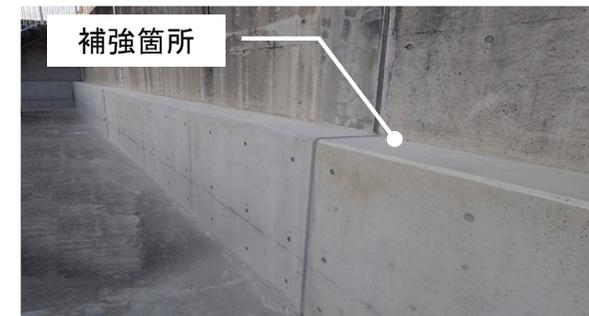
この工事は、マンホール壁に消散弁（右上写真参照）を設置し、地震時に発生する過剰間隙水圧を消散させ、マンホール周辺地盤の液状化現象を抑え、マンホールの浮上を防止するものです。

- (2) 重要な幹線等における管渠の改築による耐震化工事 (71,000 千円)
・L≒ 820m

◆ポンプ場 (109,400 千円)

【工 事】

- (1) 赤渋雨水ポンプ場耐震補強工事 (109,400 千円) 【27～30 年度】



壁のコンクリート増打ち状況

| | | |
|--|--|---------------------------|
| 【下水道事業】下水道施設改築更新整備事業〔予算額 1,939,700千円〕 | | 上下水道局総務課 財務2係(23-6858) |
| 財源内訳 | 企業債 1,256,300千円、他会計出資金 48,420千円、工事負担金 1,466千円、国庫補助金 571,000千円、自己財源 62,514千円 | |
| 支出内訳 | 下水道事業会計(資本的支出) 1款1項1目 管渠施設費/委託料 135,600千円、補償金 30,000千円、施設工事費 1,466,100千円 1款1項2目 ポンプ場施設費/委託料 146,000千円、施設工事費 162,000千円 | |

老朽化した下水道管渠及びポンプ施設の長寿命化を図ります。

◆管 渠 (1,631,700千円)

【調査・設計】

- (1) 老朽化が進行している管路の点検調査業務 (53,000千円)
・L≒ 9,600m
- (2) 優先度が高い管渠の改築更新実施設計業務 (72,600千円)
・L≒ 10,000m
- (3) マンホールポンプ所ストックマネジメント計画策定支援業務 (10,000千円)【29~30年度】

【工 事】

- 管渠更生工による老朽管渠の改築工事 (1,348,000千円)
・L≒ 7,400m

改築更新された下水道管渠



(施工前)

(施工後)

◎老朽管渠対策

今後、急増する老朽管に対応するため、老朽管渠対策を最優先課題と位置付け、計画的かつ継続的に取り組んでいきます。

◆ポンプ場 (308,000千円)

【調 査】

- ストックマネジメント計画策定支援業務 (50,000千円)【29~30年度】

【工 事】

- (1) 大門雨水ポンプ場改築工事 (84,000千円)【29~30年度】
- (2) 八帖雨水ポンプ場改築工事 (174,000千円)【30~31年度】

改築更新されたポンプ設備

